

やまがら



毎年、冬には自宅に来てくれます。

脱原発で、みんなの安心未来を築こう!

- 天下りや、税金の無駄使いをやめさせ、多くの若者を安定雇用につなげよう!
- 子育て、教育・医療費の市民負担を減らし、幸せに生きる権利と自由を守ろう!
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して、元気な高齢者が活躍するまちにしよう!



発行・梶原ときよし事務所



2011年3月の福島第一原発事故から1年4カ月余、7月16日に東京代々木公園で開かれた「さよなら原発10万人集会」には職業や年齢に関係なく、脱原発への思いを持った17万人もの市民が全国から結集しました。

私も参加を致しましたが、かつての安保反対闘争以来最大級の市民集会になったことは間違いありません。

もはや民・自・公政権ともいえる野田内閣に対し、「市民の命と生活が第一」を行わせる事はできず、結果的にうそで塗り固めたマニフェストで国民を騙した罪は拭い去ることはできません。

一刻も早く、原発・消費税・社会保障・TPPを争点に解散総選挙を行うべきではないでしょうか。

そして真に市民の命と人権、生活を守る政党が出現し候補者を出して、私達市民に選択肢を与えてもらいたいです。

自公と民主による財界と結び付いた二大保守政党化と究極の死票を生んだ小選挙区制を、マスコミによる扇動で選ばれた結果が今日の事態を招いたと言っても過言ではありません。

今、一番大切な事は、市民の命や生活よりも利潤追求の自由を優先する新自由主義社会から、基本的人権と幸福追求権を保障する人間尊重社会へと転換する事ではないでしょうか。そのためには、先ずはとりあえず原発の無い日本にして行くしか選択肢は無いと思います。

市民が政治を監視し、行動していくことでしか私達の住む社会は良くなりません。

黙認は容認につながります。一緒に行動しませんか!!

「やまがら」夏号「二」読んで下さい。

*ご意見、ご感想をお待ちしています。



2012年7月16日 脱原発10万人集会に17万人の市民が集まる(東京 代々木公園)

人気のローカルニュース番組「NEWSキャッチあい」にて市議会での論戦が取り上げられました!



■放射性物質は到達しない? 6月松山市議会で論戦

伊方原発で放射能漏れ事故が起きた場合、およそ60キロ離れた松山市にどんな影響があるのか? 放射能の拡散予測や防災対策をめぐって、議会での市側の答弁が波紋を呼んでいます。

きょうの市議会・一般質問で、**梶原時義議員**は伊方原発で事故が起きた場合の放射能の拡散予測をめぐりこれまでの市側の説明を「暴論」と批判しました。

そして、「伊方原発から松山市までおよそ60キロしか離れておらず放射性物質が到達しないはずはない」とあらためて市側の認識をたてましたが、芳野浩三危機管理担当部長は「県が公開している様々な仮定のSPEED I 予測を参考に、あえて梶原議員が言った南からの風4メートルという限定された条件の下、総合的判断で到達しないとの考えを示した。」と答えました。

これに対し、**梶原議員**は「南からの風4メートルという条件に限定して判断するのはおかしい」として謝罪を要求しましたが、市側から明確な答弁はありませんでした。

梶原議員は「防災対策に対する意識が欠けている。危機感がない」と批判しています。

※本文はあいテレビのキャッチあいホームページ (<http://www.itv6.jp/catch/>) より転載いたしました。

石鎚山クリーンハイキング参加



6月3日(日)、松山勤労者山岳会主催の石鎚山クリーンハイイク(清掃登山)に参加しました。昨年大雨で途中断念をした経過もあり、参加者の皆さん全員が、今年は何としても登りたいという思いが強かったようです。

私も3年連続の参加ですが、四国最高峰石鎚山(1982メートル)への登頂は、日頃のメンタルストレスを忘れさせてくれ、大自然とのふれあい、様々に変化する景色や空気、それに野鳥たちのさえずりに出会う事のできる貴重な時間で、ほんとうに気持ちのいいものでした。

また、ほんの少しだけゴミを拾って帰ることで山を愛する人になれるかも知れませんよね!

石鎚山クリーンハイイクは、毎年6月の第一日曜日を予定しているようですので、読者の皆さんも一度参加してみませんか。(連絡は梶原事務所まで)

梶原ときよしの活動予定や市議会のスケジュールはHPでご確認いただけます。

ホームページ **梶原ときよし** 検索
<http://tokiyoshi.sakura.ne.jp>
「スケジュール」に行動予定と感想を入れていますのでクリックしてください。

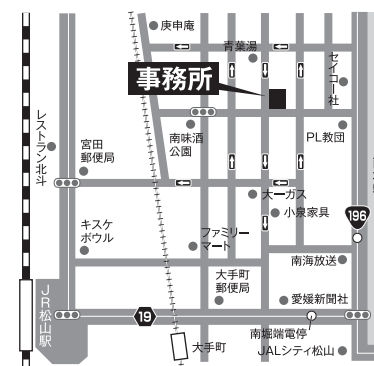
梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586

自宅/松山市湯の山4丁目1-5
TEL/FAX/977-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

- 午後1時～午後5時まで
- 土・日・祝日はお休みです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



2012年6月21日



私には不思議でありませんが、60キロ先に伊方原発を抱える松山市としては、とりあえず伊方を再稼働させず、廃炉にして行くことこそが、本市市民の安心未来を築く原点である事を申し上げまして質問に入ります。



危機管理担当部長答弁

の無などについてですが、現在、放射性物質の飛散予測については、防災基本計画に基づき、文部科学省の緊急時迅速放射能影響予測システムいわゆる「スピーディ」が使用されます。

この予測では、放射性物質の放出される高さ、燃焼度、核種などの条件のほか、様々な気象条件が必要とされるため、単に、風向・風速のみの条件で、松山市への到達は単純に判断できず、また、現在、松山市への影響を予測したデータはなく、お出しできませんが、愛媛県が公開している様々な仮想の「スピーディ」予測を参考に、ご質問の「このヘイ」逃ければよいのかなどを含め、総合的な判断で到達しないとの考えをお示ししたものです。

②津波避難対策事業について

次に6月補正予算案の一番の売りである津波避難対策事業の内、標高表示板の設置についてお尋ねします。

3月議会で私が、市民の津波避難対策と防災意識の向上を目指し、緊急に行うべき具体策として、2012年度予算に「海抜表示標識の設置費を計上するべきではないかと提案した事に対し、市長は答弁で、何ら検討約束もせず、予算化を拒否しました。

しかし、その舌の根も乾く間もない6月補正予算案で「海抜から標高」という頭文字だけを変えて提出してきたのは、どういふ事なのでしょう。か。何故、海岸沿い住民に解り易い「海抜表示」ではなく、なじみの薄い「標高表示」にしたのかを含め、以下3点についてお答えください。

一つは「海抜」と「標高」は全く違うのか。二つ目は、実際設置する標識にはどちらを使うのか。

次に6月補正予算案の一番の売りである津波避難対策事業の内、標高表示板の設置についてお尋ねします。

3月議会では私が、市民の津波避難対策と防災意識の向上を目指し、緊急に行うべき具体策として、2012年度予算に「海抜表示標識の設置費を計上するべきではないかと提案した事に対し、市長は会弁で、何ら検討約束もせず、予算化を拒否しました。

しかし、その舌の根も乾く間もない6月補正予算案で「海抜から標高」という頭文字だけを覚えて提出してきたのは、どういう事なのでしょう。何故、海岸沿い住民に解り易い「海抜表示」ではなく、なじみの薄い「標高表示」にしたのかを含め以下3点についてお答えください。

一つは、海拔と標高はどう違うのか。
二つ目は、実際設置する標識にはど
ちらを使うのか。

「放射性物質は本市までは到達しない」とは正気の判断か」

「標高表示ではなく「海拔表示」標識に統一するべきではないか」

「国道と市道小野3号線との交差点等に、観光案内の道路標識を設置してはどうか」

審議会委員に女性の登用を）

今回、新たな国の想定が示されたことにより、官民の連携のもと津波避難対策の充実を図る事業であると考えており、今会議の中で審議いただくこ

また、奥道後・玉川県立自然公園内に
ある湧ヶ淵公園や奥道後温泉を本市だ
けでなく、本市周辺の市民や旅行者が
気軽に利用でき、分り易く目的地に
行けるように配慮していく必要がある
のではないでしょうか。

今現在、奥道後方面という文字の
ある案内看板は国道317号線に1か
所あるだけでその他の国道や県道、松
山市道には1か所もありません。
新しく完成した市道小野3号線と、
その交差点を含む国道の案内看板に
「奥道後方面」という文字を入れるべ
きだと思いますが、御所見を願います。

本市に來られる旅行者への配慮は、
奥道後地区だけではなく、本市の活
化と市民の笑顔につながるものと確
信しています。

都市整備部長答弁

奥道後地区を対象に今回、幹線道路
の案内標識の設置状況について現地
調査をしましたところ、道後温泉周
辺の国道317号に奥道後方面と案内
している標識が1箇所ありましたが、
それ以外は設置されておりませんで
した。

そこで、昨年度末に、国道11号の平井
町から、国道317号の食馬町まで開
通した、幹線市道小野3号線は、通
する利用者が多いことから、交通の安
全と円滑を図るため、道路案内標識の
表示内容が適切なものとなるよう、交
差点の道路管理者である国や県とす
てに協議を行なっているところです。

また本市男女共同参画推進条例第19条第2項には、「審議会等の構成員任命に際し、男女いずれか一方の構成員の数が、構成員総数の10分の4未満にならないように努める」とあり、積極的改善処置を講じる事としています。

女性部長は誕生しておりませんが、これは、女性職員の絶対数が少ない中、地方公務員法第15条に定められている勤務成績その他の能力の実証に基づいて職員の昇任を行ってきた結果であり、議員が言われる責任や女性差別人権意識レベルの低さといったことはございませぬ。

総務部長答弁